

基本評価シート

様式

北海道 宗谷・浜頓別区域

(北海道宗谷総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和4年度（2022年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（浜頓別地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	宗谷総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	西野 胡桃	担当者連絡先	0162-33-2922
捕獲実施事業者	株式会社高橋組 (認定を受けている)	予算額（※2）	169,545,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	68,729,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
100頭	107頭	107%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
69万頭※ (個体数指数: 東部 124、北部 113、中部 163、南部 358)	東部: R8末に個体数指数 50 以下 (H23 を 100) 北部・中部: R13末に個体数指数 50 以下 (H23 を 100) 南部: R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
34,118頭(R3)	29,806頭(R3)	77,437頭(R3)

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」(H27以降「エゾシカ管理計画」)に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年1月31日～令和5年3月27日(※委託期間)
実施区域	<p>浜頓別地域（枝幸郡浜頓別町字頓別）</p> <p>該当地域は北オホーツク道立自然公園内ベニヤ原生花園に位置し、国有林や公共牧場が隣接している。エゾシカの生息地や越冬地として利用されており、植物の踏み倒しや食害による農林業被害、隣接する国道238号線の交通事故の経済被害が多数指摘されている。</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・（地独）北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(107%達成)</p> <p>= (107頭) / (100頭)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、データも併せて添付。）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p>

	<input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (センサーカメラ等によりわな内侵入個体を確認) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	受託者において捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について、振興局、市町村等関係機関と開催した調整会議内で情報の共有。また、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等の対策を講じ安全管理の徹底を図った。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：12人 (内訳) 正規雇用者12人、期間雇用者： 人 日当制： 人

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：事業実施にあたり、前年度事業経験者による捕獲を実施することにより捕獲目標を超える成果となった。前年度の実施と同様の流し猟に加え待ち伏せ猟、囲いわなといった手法を同時的に実施したことにより捕獲効率び向上に繋がった。
	改善点：複合的な猟法を取り入れることは、捕獲効率の向上となるが、その実施のためには ICT 等の技術操作に長けた者、給餌見回り、回収運搬、保安員、オペレーター、射手といった技術的な要素を持った人員が多く必要。
【実施期間】	評価：冬季～雪解けの時期での実施となったが、概ね季節移動で集まるシカを捕るという目的は達成できた。
	改善点：実施期間が短く、事前調査も不足であったことから、実施期間の延長が必要。
【実施区域】	評価：前年度に引き続き同地点での実施だが、推定生息数は100頭以上とみられ、捕獲区域として適切であった。
	改善点：本事業実施後の空撮等により、依然としてシカの群れが撮影され、事業実施区域外にも多くの群れがいることから、捕獲区域の拡張が求められる。

【捕獲手法】	<p>評価：銃猟・わな猟といった複合的な手法を組み合わせることにより、いずれか1つの猟法が行えずとも、他の猟法によりカバーでき作業効率が上がり、捕獲率向上に繋がった。</p> <p>改善点：推定生息数の把握によりさらなる捕獲効率の向上となることから事前調査等の時間を十分とることが必要。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：前年度から引き続き同業者による事業実施となり、経験の豊富さ、関係機関との密な連携が図られ、体制としては十分であった。</p> <p>改善点：受託者の選定には公募型プロポーザル方式をとったが、2年連続して1者のみの応募であった。捕獲地周辺地域の会社のため、地域連携にとっても強みがある一方、よりよい捕獲手法の確立については、比較対象がないという点で、不足が感じられる。</p>
【個体処分】	<p>評価：捕獲個体は全て、捕獲地域町の処理施設で処理を受け入れることとなっており、個体の搬入方法等、受託者と町で連携が取れていた。</p> <p>改善点：近隣に食肉処理施設がないことで、有効活用個体は0であった。管内の食肉処理施設は遠方のため、有効活用個体を増やすことは不可能。</p>
【環境配慮】	<p>評価：誘引餌の選定の際には発芽性種子等が含まれていないか確認され、在来の生態系を乱さない配慮がなされた。また、周辺住民へ捕獲を行う旨の周知を受託者により行われた。</p> <p>改善点：同様の配慮を継続する必要がある。</p>
【安全管理】	<p>評価：地域住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置、当日の保安要員配置、及び捕獲従事者の事前打ち合わせ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。</p> <p>改善点：同様の管理体制を継続する必要がある。</p>
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>4. 全体評価</p> <p>目標頭数 100 頭に対して捕獲頭数が 107 頭と、目標を超える結果となった。</p> <p>捕獲の内訳としては銃猟が 102 頭、わな猟が 5 頭で、銃猟についてはシャープシューティング、流し猟、待ち伏せ猟であり、捕獲頭数のほとんどを捕獲。わな猟は囲いわなのみでの実施。複数の猟法を用いた捕獲は捕獲頭数や捕獲効率から見て良好な結果を生んだと考えられる。</p> <p>事業実施期間の短さ、事前調査不足といった問題点が現れたが、これを改善することにより、推定生息数に基づいたより効果の高い猟法構築や、綿密な計画、体制等のさらなる</p>	

捕獲に向けた実施が可能となると考えられる。

捕獲を行った後、事業実施区域外へ逃げ込むシカが多く存在しており、事業実施場所を含めた周辺地域としてはまだまだシカが生息していると予想される。

生息数の把握や、継続的な実施により捕獲を続けることが必要。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

道立自然公園特別地域内といった捕獲困窮地における捕獲を実施することにより、個体数を減少させ農林業被害や生活環境被害、生物多様性に及ぼす影響を押さえるといった点で寄与したものとする。しかし、未だ高い生息数が確認されている中、関係市町村と連携し、継続的な捕獲や、効率的な捕獲手法の確立により長期的な目線で個体数の減少を目的としていきたい。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない	
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない	
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない	
概況図を作成する 上での課題	特になし	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 130 人日

事前調査人日数概数※2： 10 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 120 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	130 人日	47 人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 72 人日

事前調査人日数概数※2： 10 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 62 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基× 日数）	72 基日	90 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	107 頭	77 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	536 頭	180 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.72	0.77	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.35	0.26	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input checked="" type="checkbox"/> 誘引狙撃	62 頭	88 人日	0.70 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	6.09 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	40 頭	66 人日	0.61 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	8.12 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	5頭	11頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.8	0.54	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.4	0.45	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input type="checkbox"/> くくりわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	5頭	39基日	0.13頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

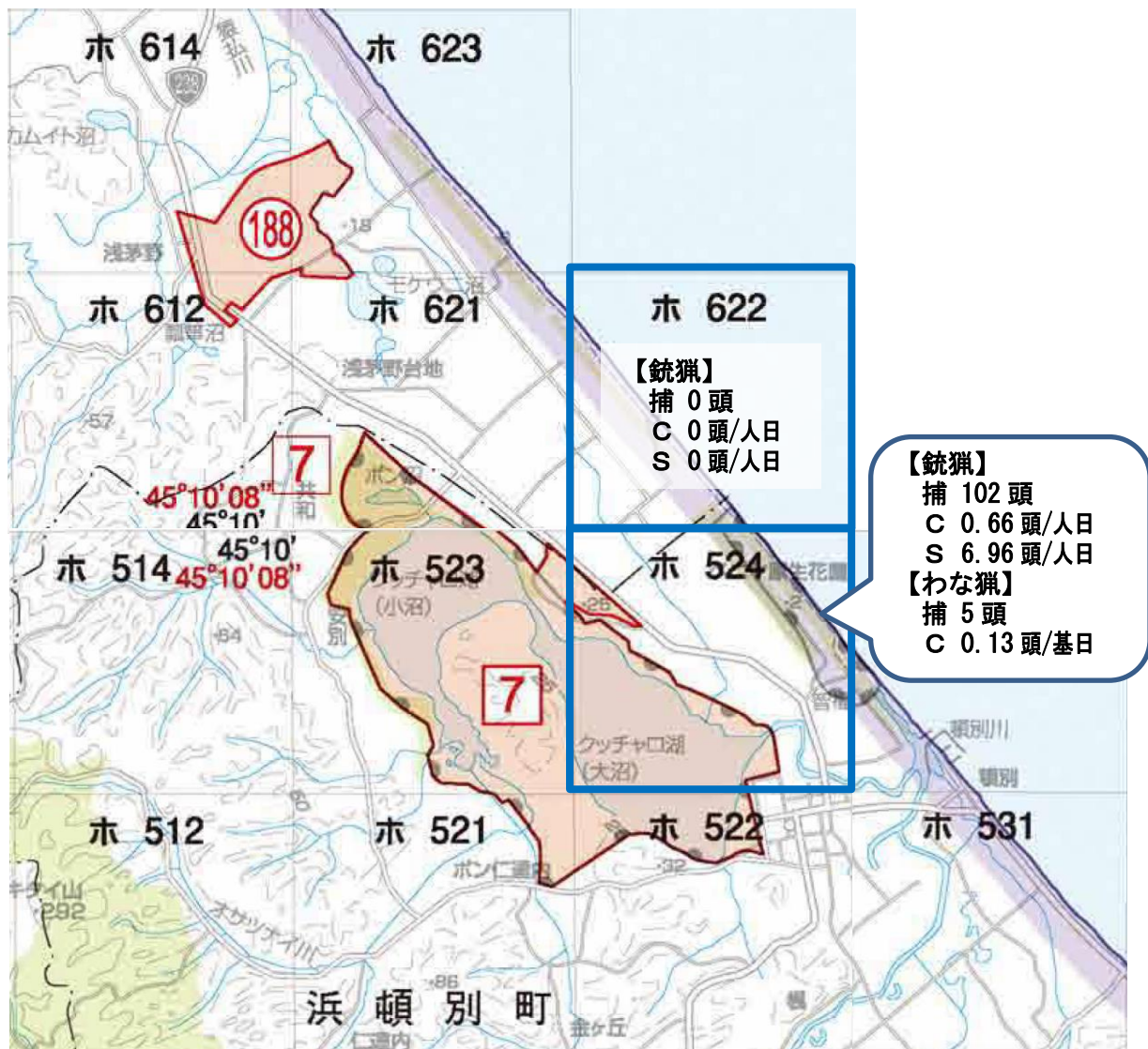
処理にかかる人工概数: _____ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: _____ 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

基本評価シート4（1）イ）に付随する概況図
（宗谷・浜頓別区域）



北海道「令和4年度（2022年度）鳥獣保護区等位置図」より

【メッシュ番号】

ホ622：銃猟 ホ524：銃猟、わな猟（囲いわな）

（凡例）

捕：捕獲数
C：CPUE
S：SPUE

北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画【浜頓別区域】

【位置図】



【区域図】

